

一般財団法人ルンデ 第9期事業計画

・主催コンサート

国内外で活躍する演奏家を主軸にして41回の室内楽・器楽のコンサートを主催の計画をたてています。

- 10/8 ジャン＝エフラム・バヴゼ
- 10/12 佐野功枝
- 10/13 神田勇哉アンサンブル
- 10/19 児玉麻里 ピアノリサイタル
- 10/25-26 ルンデ桜山音楽祭 CONCERT I-V
- 10/27 鎌田茉帆のチェンバロと歩む四季 vol.4-2
- 11/3 ヴィジョン弦楽四重奏団
- 11/8 山下愛陽
- 11/9 アレクサンドル・タロー
- 11/10 鎌田茉帆のチェンバロと歩む四季 vol.4-3
- 11/17 ドミトロ・ウドヴィチェンコ&ミカエル・ロポネン
- 11/22 堀米ゆず子と仲間たち
- 11/24 山根一仁&小林道夫 デュオリサイタル
- 12/7 バボラーク・アンサンブル
- 12/14 Aoi Trio
- 12/20 中村太地
- 12/27 鎌田茉帆 チェンバロリサイタル 2025
- 1/12 ジアシン・ミン
- 1/17 若林顕
- 1/17 異色のアンサンブルが彩るバロック音楽
- 2/1 カルテット・エクセルシオ
- 2/7 アリス・アデル
- 3/1 桐五重奏団
- 3/2 三浦謙司
- 3/19 小菅優
- 4/4 村治奏一
- 5/9 壺阪健登トリオ
- 5/16 福田進一
- 6/6 酒井茜
- 6/7 S.D.E. (木管五重奏)

6/20 ホルショフスキ・トリオ
7/5 児玉麻里
7/12 ソロデュオ（ギター）
8/1 ティモシー・チューイ
8/16 Aoi Trio
9/14 パオロ・バンドルフォ
9/27 アレクサンドル・タロー

・共催

協力コンサート 10回（企画中および予定含む）

・後援

ちゅうしんコンサート 2025年11月24日 赤坂智子・大田智美 ヴィオラ・アコーディオンコンサート

ちゅうしんグリーンコンサート 2026年5月（予定）

一般財団法人ルンデ 第8期予算算定の根拠

基本財産運用益（法人会計）：

受取利息を実績より算出。

事業収入（コンサート収入）：

第8期の1公演あたりの有料入場者平均70名より、有料入場者を1公演あたり平均80名とし、チケット販売額の平均値4000円として算出。

受取補助金等（かるふあん）：

第7期、第8期の実績より設定。

受取寄附金等（寄附金）：

村林 基彦 より 年間 300万

竹中 三四郎 より 年間 200万

株式会社デイブレイクフレーバー より 年間 60万

の寄附の確約を9期は得る。

雑収入（法人会計）：

株式配当金、有価証券評価益等を実績より算出。

諸謝金（出演料）：

第8期までの1公演あたりの平均出演料350,000円を基礎とし算出。

賃借料（ホール使用料）：

Halle Runde 使用料（平日午後夜間、土日祝午前午後の区部：90,000円）を基礎として算出。

なお、レセプション（ホール開場時・コンサート終演時の受付・誘導人員）、音響・照明・映像の設営はこの金額に含む。金銭管理および進行は役員にておこなう。

同日複数公演は1公演として計算。

印刷製本費（デザイン・印刷費）：

チラシのデザインを元に、チケット、Web サイト画像素材、当日プログラム等の展開も含めたデザイン費、1公演40,000円、印刷代20,000円を基礎として算出

租税公課（公1、法人会計）：

消費税に関しては、税抜会計での差額を計上。法人税等は県税・市税の均等割のみで算出。

雑費（公1、法人会計）：

クレジットカード決済等の決済手数料、銀行振込振替手数料、サーバー利用料、著作権使用料、税務申告書作成料を第8期実績より算出。

なお、共催および後援に関しては、詳細が未定であり金額への直接関与度合いが低いため収支予算計算に含まず。